



国立大学法人

静岡大学 大学文書資料室

# 大学文書資料室 かから版

歴史に学び、未来を創る

2023年10月

第2号

## 第12回キャンパスフェスタ in 静岡で企画展示します！

大学文書資料室では、例年、キャンパスフェスタ in 静岡で企画展示を行っています。

今年度は、本学で活躍された教員として望月勝海元文理学部長の特別展示を行いますので是非ご覧ください！

### 大学草創期の地質学者・地理学者 望月勝海教授の研究と教育

望月教授は、研究や教育、大学行政など多方面で活躍された本学教員ですが、このたび、同氏が遺した資料や生涯にわたる日記をご遺族から寄贈いただきましたのでご紹介します。

望月氏は戦前以来旧制静岡高等学校教授であり、浜松工業専門学校教員養成課程、静岡師範、女子師範、静岡中学(現静岡高校)を兼職し、当時の交通事情からみても極めて負担の多い教育活動に尽くただけではなく、その教育の成果を生かして多彩で新知見に満ちた専門著作を発表されました。しかも今日風に言えば地域貢献にあたる地域の地質研究で地元の人々との協力を第四高等学校(金沢)時代からのノウハウを生かして取り組まれました。このあり方は今日も静岡県地学会として後輩が引き継いでいます。それだけではなく、研究面で、当時の東亜研究所の支えを受けて、東アジアから南洋方面に及ぶ地質調査の知見を活かし、今日でこそ常識となってきたプレートテクトニクスの初期の研究を試みられ、それを含む成果を発表されています。国際的にはドイツなどの研究成果に基づく著作の翻訳にも大いに務められ、リヒトホーフェンなどのアジア研究の翻訳紹介でも大きな貢献をされました。これらの成果の上に、戦時のさなか、文部省が推進していた理科学教育の在り方をめぐる検討会でも指導的な力を発揮され、戦時下から戦後にかけての地質学、地誌学、地理学教育の内容面での問題提起と実践を果たされました。

戦後の旧制高校の昇格を軸とする新制大学設置にあたって、先生は大いにその行政手腕を発揮され、文部省との調整にあたり、当時設置された文理学部(のちの人文社会科学部と理学部)の学部長や大学全体の学生生活、学生自治にかかわる学生部長を歴任されるなど、本学創立期の代表的な教授のおひとりでありました。

ここで添えておかなければならないのは、教育と研究の最前線を走りつつも、子育てに大いに力を尽くされたことは、その詳細な日記に詳しく出ていとおりであり、どう見ても与えられた時間を十分に消化する中で、このようにいわば家庭から学校の仕事、文教行政に至るまで多くの時間を割かれた超人的活動を見る思いがします。この子煩悩にみられるように他者への思いやりや自由の尊重の面で、柔和な人柄であったと当時を知る人が述べているところです。

山本義彦 静岡大学名誉教授

### 展示解説のご案内

昨年度も好評でした  
山本義彦名誉教授の  
展示解説(10分程度)  
を行います！

11月4日(土)・5日(日)

10:00~ 11:00~

13:00~ 14:00~

望月教授と日記  
(生涯日記を手放さなかった)

随時、説明も行いますので  
ご自由にお立ち寄りください。



## 大学文書資料室 所蔵資料

### 戦後の小・中・高等学校教科書にみる歴史背景

このたび、静岡大学附属学校卒業生から長期保存されていた小・中・高等学校の教科書を寄贈いただきました。戦後すぐの教科書であるこれらの資料は、体系的に、また状態もよく保存されており、とても貴重な資料といえます。

戦後改革でその後長く大きな影響を持つのは、戦前の家父長的な家族制度によって縛られた農村の民主化を促す農地改革によって、小作農民の地主への隷属を止めること、次にそれを支える教育制度の民主化を図り、エリート主義的高等教育を排除し、民主的市育成にかじを切ったことが特徴といえます。また、政府の指導下の軍国主義的な教育内容を国民本位の内容に変える都道府県市町村の教育委員会の創設と、その委員の公選制による地域住民の教育への期待を尊重すること、そして教育内容の民主的平和的なものへの転換を図ることが重要といえます。

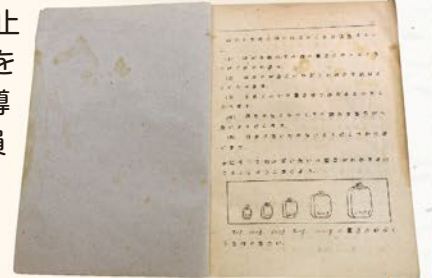
これをふまえて教科書は、戦後直後は謄写版による簡易な冊子風のものもみられ、戦時下に鬼畜米英の敵性語として排除されていた英語教育が復活したことも特徴的でした。歴史教科書はそれまでの神がかりの歴史から事実に基づく歴史記述へ、その意味では、戦後発掘が本格化した静岡市の登呂遺跡の事実を伝えるなど大きな内容変化を起こしたことを知ることができます。

大学文書資料室では、100年を超える高等教育関係資料が残されています。ここでは、所蔵資料の一部をご紹介します。

謄写版による簡易な冊子風の一例 ▶



算数の教科書



## 戸部 健 人文社会科学部 教授

## コ | ラ | ム

大学文書資料室では様々な業務を行っておりますが、特に本学の歴史資料整理業務等については、人文社会科学部教員の協力を得て実施しております。今回は、戸部健教授から、大学文書資料室に期待することについてコメントをお寄せいただきました。

### 大学文書資料室に期待するもの

静岡大学大学文書資料室には、本学の歴史にかかわる文書資料が保存されていますが、資料のなかには資料室以外の場所に置かれているものもあります。そのひとつが、人文社会科学部に所蔵されている旧制静岡高等学校関係資料です。旧制静岡高校は1922年に開学し、49年に静岡大学文理学部に改組されましたが、同校に関する膨大な資料群はその後も文理学部の後継学部のひとつである人文社会科学部において大切に保管されてきました。他方、大学文書資料室には文理学部以降の資料が、もうひとつの後継学部である理学部のものも含め多く残されています。つまり、人文社会科学部所蔵の旧制静岡高校関係資料と大学文書資料室所蔵の各学部関係資料とを合わせることで、旧制静岡高校から静岡大学人文社会科学部・理学部へと続く100年以上の歴史をたどることができるのです。そのため、大学文書資料室における資料整理作業の成果には我々も大いに期待しています。

旧制静岡高校関係の文書資料の一部



旧制静岡高校関係の物品の一部

- 県大会トロフィー
- 公印
- 表札
- 浜松高等工業学校との試合で使用されたボール



国立大学法人

静岡大学 大学文書資料室

<https://wwp.shizuoka.ac.jp/archives/>

〒422-8529 静岡県静岡市駿河区大谷 836

TEL : 054-238-3623

archives@adb.shizuoka.ac.jp

ご来場お待ちしております!

